

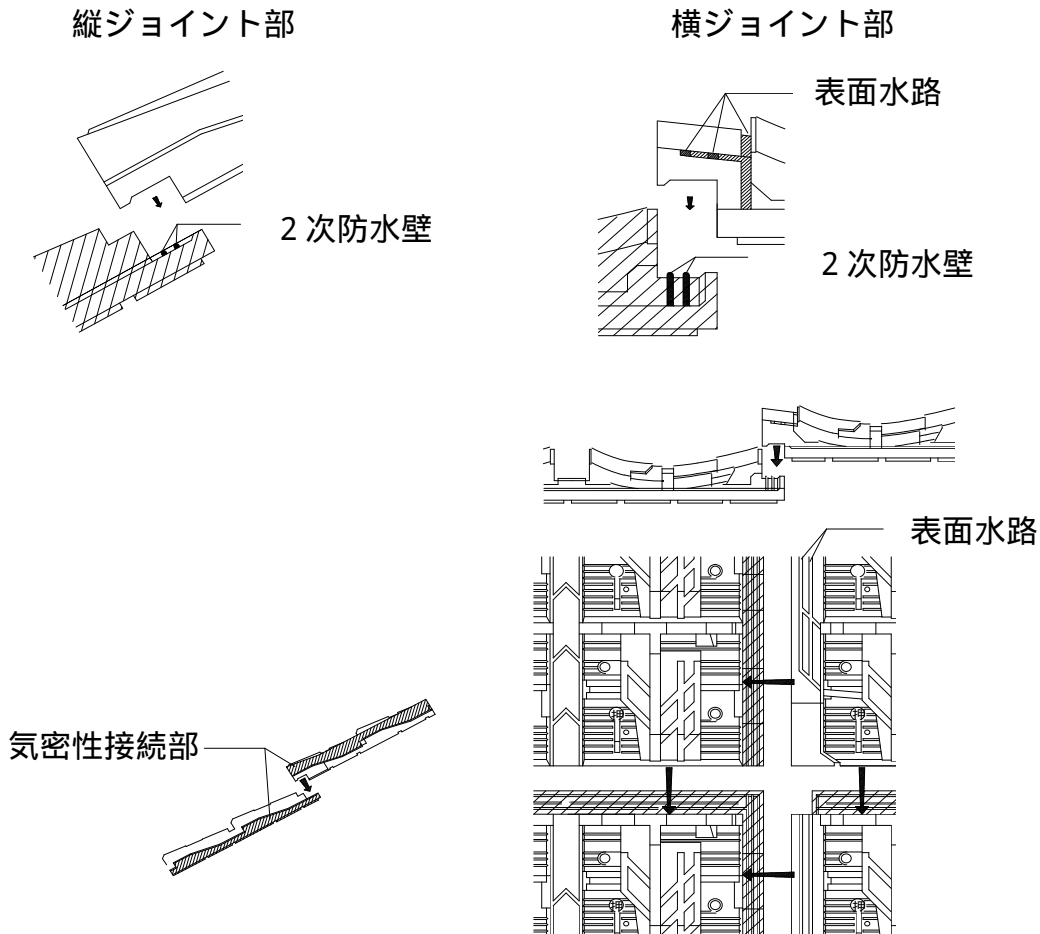
(1) 防水性能

「下葺き材による2次防水の性能」

【対応】

断熱下葺き材自身の防水を図る為、接続重ね部（縦列・横列）に2次防水壁と表面に複数の水路を設置することで、浸入水の流通を図り、躯体への漏水を防ぐ

[断熱層接続部の形状と敷設図]



【性能確認】

下葺き材接続部露出試験による確認

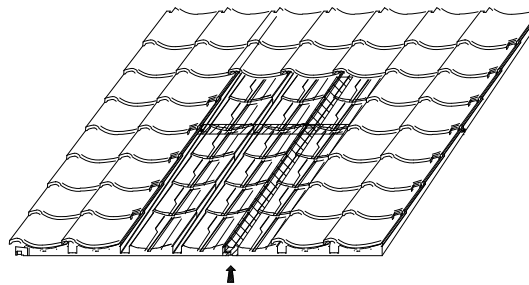
[条件]

試験勾配 4寸
(瓦全面敷設試験2.5寸)
降水量 240mm/h
風速 49m/s
時間 20分

【試験結果】・・成績書添付

漏水なし

(常滑窯業技術試験センター)



接続重ね部（縦列・横列）